

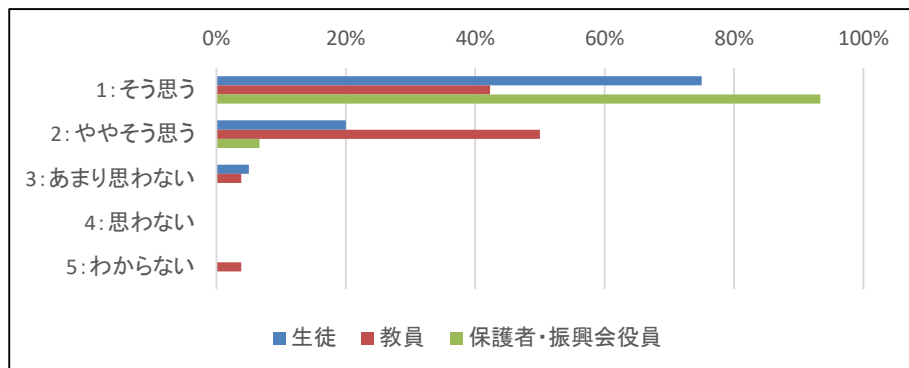
令和6年度 高知県立高知工業高等学校定時制 学校評価アンケート 集計結果

関係者各位

ご協力いただきました学校評価アンケートの集計結果です。
集計結果から改善点を見出して、より良い学校づくりを目指し努めて参りますので、今後ともご支援・ご協力をよろしくお願いします。

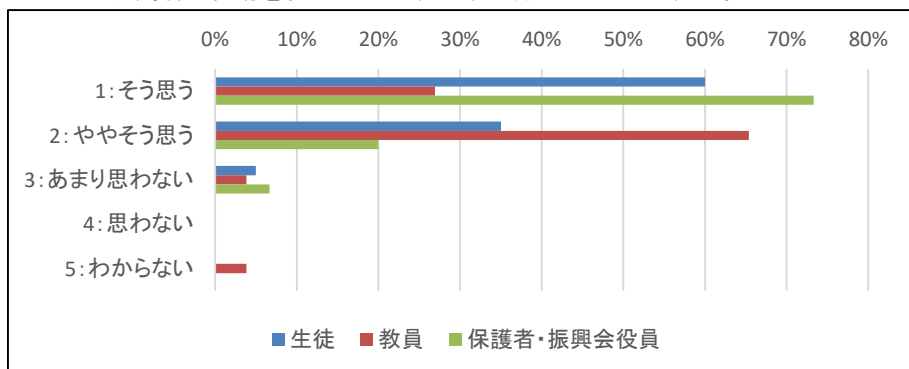
学校長 北村 晋助

問1 本校の生徒は、この学校に入学して良かったと思いますか。



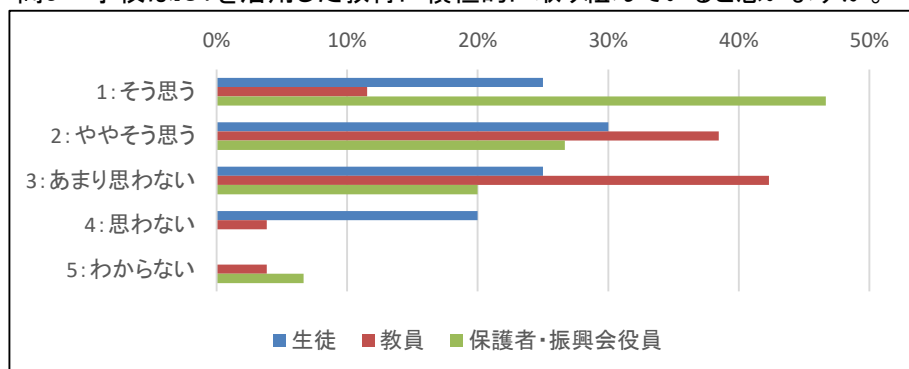
生徒は95%、保護者は100%の肯定的な回答を得ることができた。また、肯定的な意見はH29年度より90%を超えており、「そう思う」との回答も多いので次年度も、多くの生徒たちが本校定時制に満足できるよう、教職員が一丸となって努めていきたい。

問2 学校は家庭への連絡や情報提供(保健だより・PTA通信・進路通信・ホーム通信・ホームページ等によって)、啓発活動を行っています、十分だと思いますか。



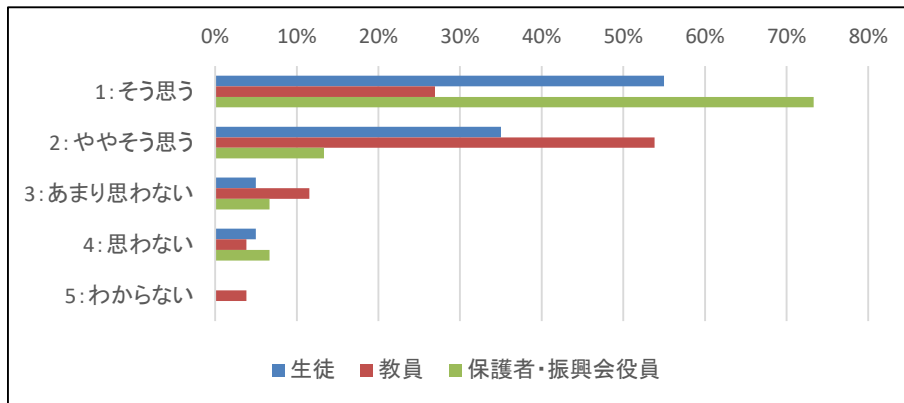
全体で90%以上が肯定的な回答であった。今年度もPTA通信に写真を多く取り入れ、各学校行事においてもホームページでタイムリーに発信するように心掛けた。次年度も時代背景に即した情報提供を心がけ、効果的な発信を目指していきたい。

問3 学校はICTを活用した教育に積極的に取り組んでいると思いますか。



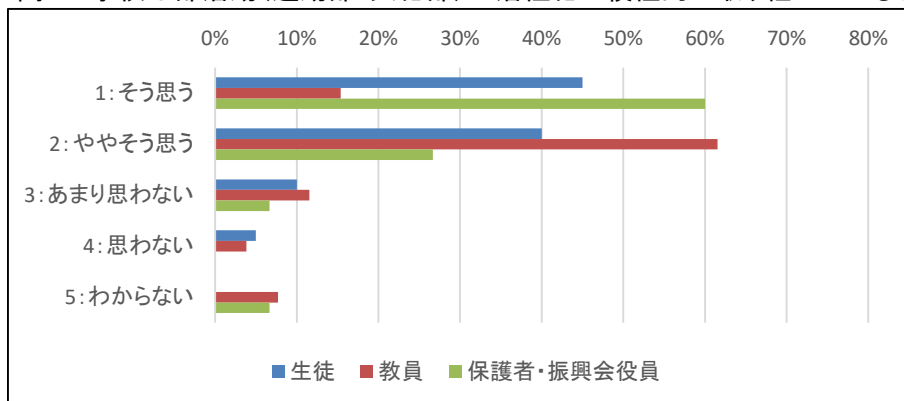
授業において特にICTの利用を促進するべきであるが、校舎・教室も老朽化しており、各教室に常設したプロジェクターがなく、休み時間も5分と短いため、準備・片付けに追われて活用がしづらい環境下となっている。しかし、昨今、ICTは生徒の興味関心を高め、授業理解を高めるための大切な補助教材となっているので、予算的な問題があるが少しずつでも環境を整えていきたい。

問4 学校(教職員)は授業だけでなく、教員と生徒・生徒同士の人間関係を密にするため、十分努力をしていると思いますか。



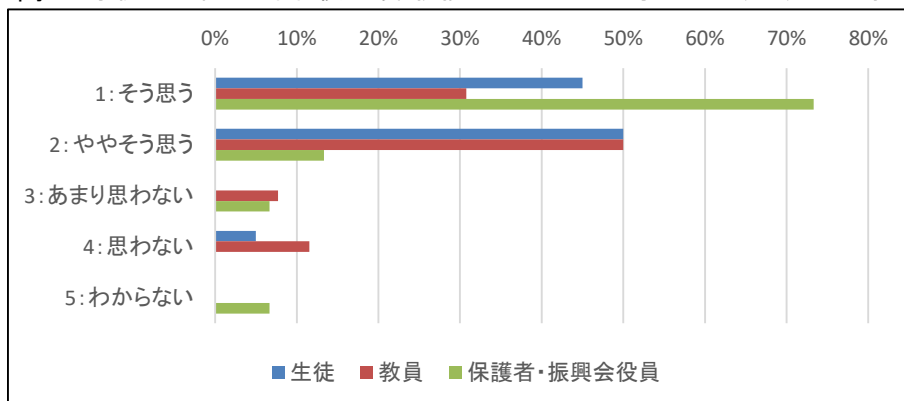
昨年度に引き続き、生徒の肯定的な回答を90%以上得ることができた。今年度より「全教職員で全校生徒を支援」を掲げて取り組んでいるので、次年度は95%以上の回答を目指したい。関係性を深め、認め合い・助け合いそして学び合いにつながるように、一人一人の生徒に沿った支援を行えるように教育活動にも工夫を凝らして携わってきたい。

問5 学校は部活動(運動部・文化部)の活性化に積極的に取り組んでいると思いますか。



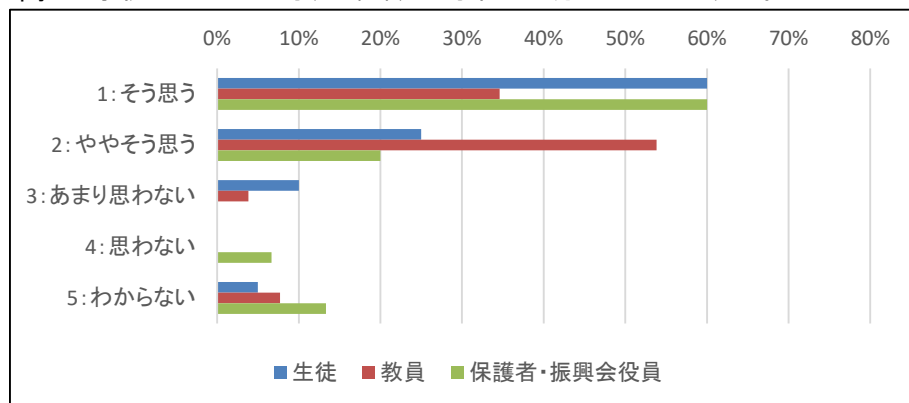
運動部では、バドミントン部とバスケットボール部が県大会で入賞を果たし、文化部では、土木研究部が全国規模の橋梁模型コンテストで最優秀賞を受賞することができた。全体的に部活動に取り組む生徒の学習成績や出席率は安定しており、積極的に学校生活を送る要因ともなっている。しかし、生徒の否定的な回答も15%あったので、部活動の在り方や顧問配置も含めて検討し、より良い生徒の成長の場となるよう取り組んでいきたい。

問6 学校は基本的生活習慣(態度・挨拶・マナーなど)が身に付くように、適切な指導を行っていると思いますか。



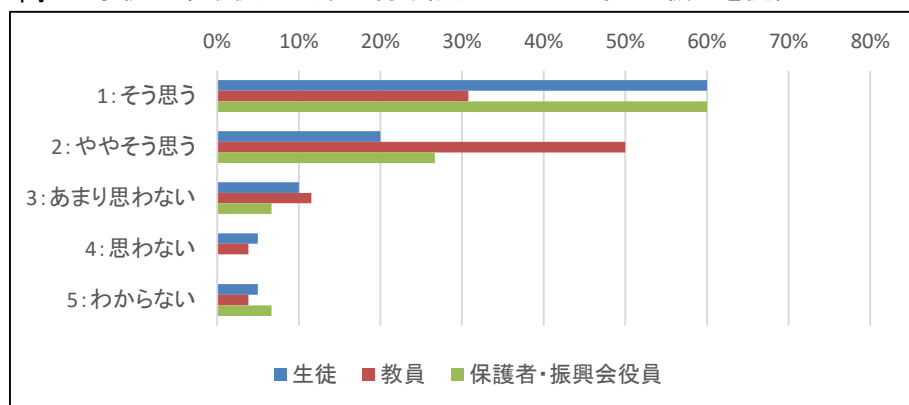
生徒の肯定的な意見が95%と、昨年度に引き続き90%以上を維持することができた。今年度から設置した生徒支援部を柱に、集会・放送を使用している生活指導や、登校時のあいさつ運動、授業や集会時の立礼等をととして学校生活・集団生活におけるマナーの向上に努めており、次年度も引き続き取り組んでいきたい。

問7 学校のいじめに対する認識や対策は十分だと思いますか。



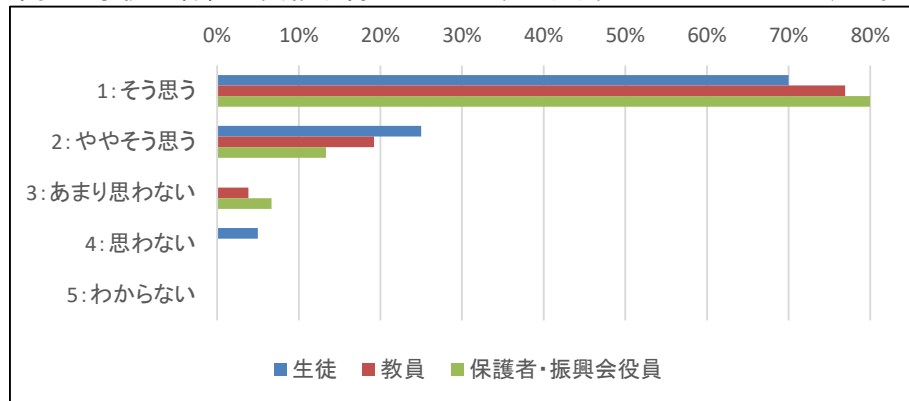
昨年度に引き続き生徒の肯定的な意見は85%を超える回答を得ることができた。本校定時制では、学校生活アンケートや毎月の学年会や生徒支援委員会等で、ささいな問題や生徒の言動についても情報交換を行い、迅速な対応を心掛けている。次年度も、「全教職員で全校生徒を支援」と共に「初期対応より事前対応」を合言葉に、相談・支援しやすい関係づくりを築いていきたい。

問8 学校は卒業後の進路や将来設計について考える機会を提供していると思いますか。



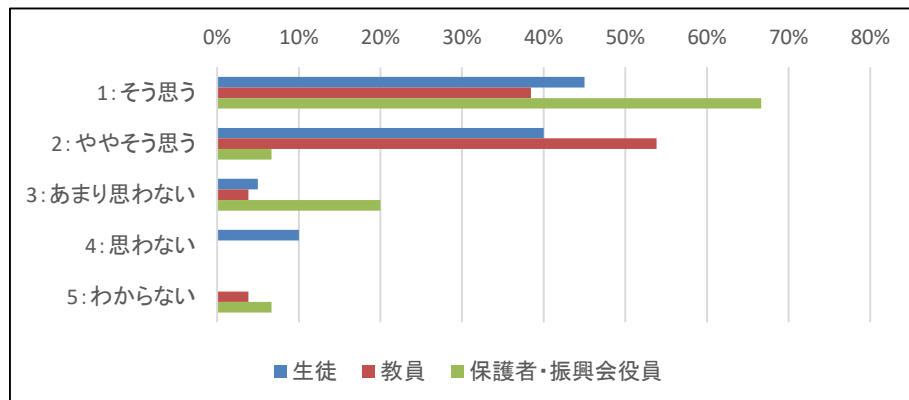
生徒の80%が肯定的な回答であった。「進学・就職希望に応える教育をする」ことは問14からも伺えるので、今後も、進路ロングホームやキャリア講話、進路通信等を通じて情報を提供し、卒業後の進路について主体的に考え、行動できるように支援していきたい。

問9 学校は各種の資格取得ができるように取り組んでいると思いますか。



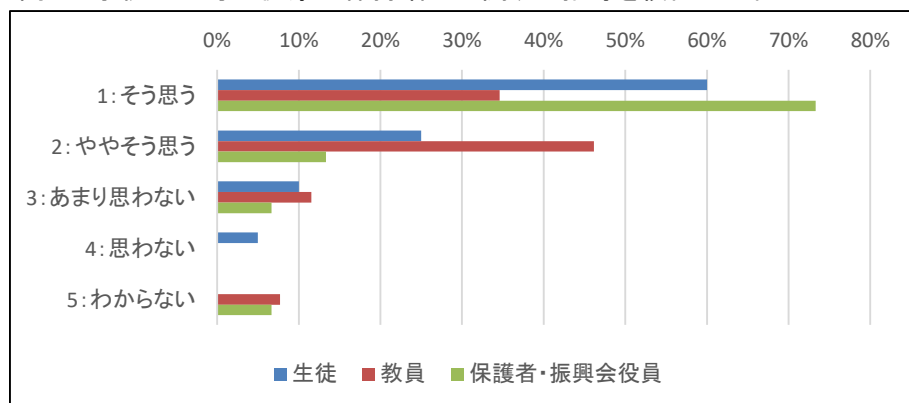
肯定的な意見が、生徒が95% 保護者が93%と、今年度も資格取得へ向けた各科の取組の理解が得られている結果となった。次年度も、ものづくりの学校として、難易度の高い国家資格取得に向けても、生徒が意欲的・主体的に取り組める教育体制を図っていきたい。

問10 学校は一人一人の多様なニーズに応えるための教育に積極的に取り組んでいると思いますか。



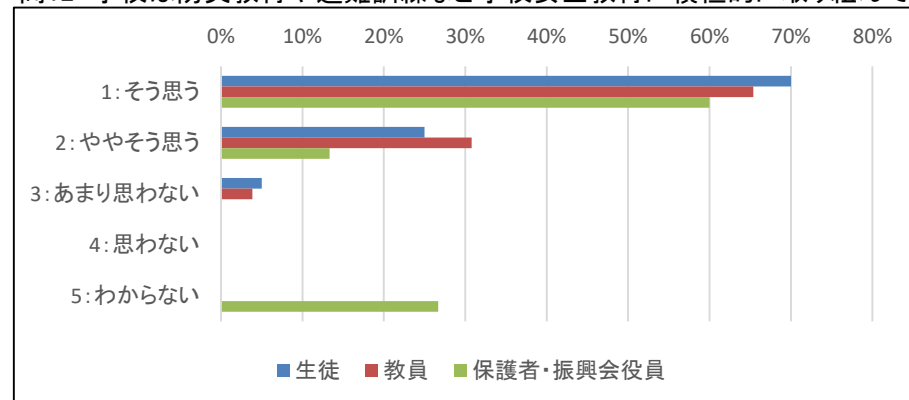
本校は中卒生から社会人等まで、高知県で最も様々な年齢層が入学する学校であり、就職・進学やスキルアップ・学び直し等、多様なニーズが生まれている。今後も、教員が組織的に連携を図り、個々の生徒の実態に即したきめ細かな支援ができるように努めていきたい。

問11 学校は心身の健康や保持増進に関する指導を積極的に行っていると思いますか。



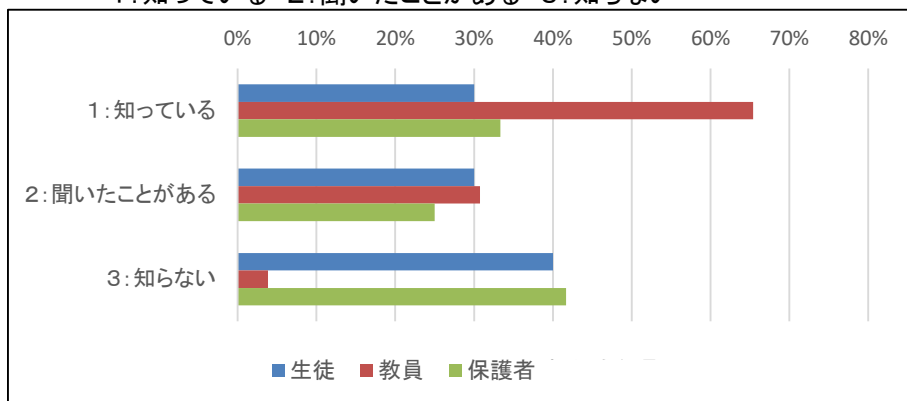
「と思う」との肯定的な回答を昨年度より多く頂けた。毎月発行している「保健だより」や、生徒支援部を中心とした中卒生や社会人の生徒への呼びかけの成果とも言えるので、今後も健康や安全に関する指導を充実させていきたい。

問12 学校は防災教育や避難訓練など学校安全教育に積極的に取り組んでいると思いますか。



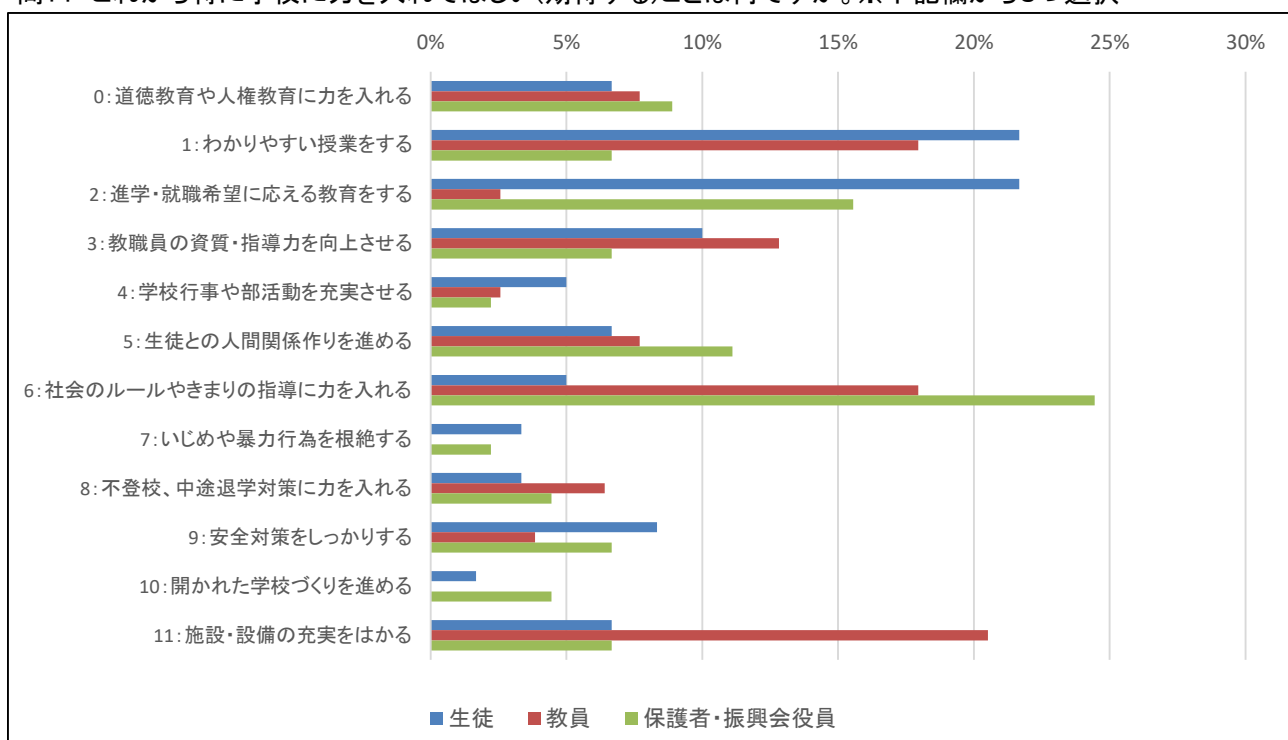
南海トラフ大地震が発生した際には、本校は建物の倒壊とともに、津波や地盤沈下、火災まで危惧されている。その中、防災教育として避難訓練と共に、消防局を招いての講話や起震車体験等の取組が評価され、生徒の回答では95%以上が肯定的な回答をいただいた。今後も、工夫を凝らして学校安全教育を推進していきたい。

問13 本校の教育振興会の活動内容を知っていますか。※1～3で回答
1:知っている 2:聞いたことがある 3:知らない



生徒の「知らない」との回答が昨年度より約20%減少したことは、良い結果へと向かっている。教育振興会は、本校定時制教育の振興を図る事を目的として、部活動や修学旅行における旅費支援や、卒業時の修学優秀生徒や国家資格取得者への表彰・記念品贈呈等で支援をいただいている。次年度も、活動内容の情報発信を図りたい。

問14 これから特に学校に力を入れてほしい(期待する)ことは何ですか。※下記欄から3つ選択



【特に期待されている回答率】

○生徒：「わかりやすい授業をする」22%、「進学・就職希望に応える教育をする」22%

○教員：「施設・設備の充実をはかる」21%、「社会のルールやきまりの指導に力を入れる」18%、「わかりやすい授業をする」18%

○保護者・振興会：「社会のルールやきまりの指導に力を入れる」24%
「進学・就職希望に応える教育をする」17%

次年度は上記の結果を踏まえ「わかりやすい授業をする」「進学・就職希望に応える教育をする」「社会のルールやきまりの指導に力を入れる」を、教育目標に掲げて取り組んでいきたい。